



地震避難訓練で、「一次避難」を学ぶ

4日(金)に地震避難訓練を実施しました。

当日は、あいにくの雨天だったため、校庭への二次避難はおこないませんでしたが、地震発生時に迅速で安全な行動がとれるように、おさない・かけらない・しゃべらない・もどらないの「おかしも」の約束を確認しました。

そして、「地震発生！」の校内放送を合図に、子どもたちは、机の下にもぐって頭部を守るといった地震発生直後の一次避難の方法を実践を通して学びました。2年生は、担任の指示をよく聞いて、素早く机の下にもぐり、話をしないで静かに次の指示を待つことができました。さらに、二次避難の動きを想定して、防災頭巾を被って整然と教室からベランダに出るところまでの訓練をおこないました。

訓練後、1・2年生は「みきゃんのぼうさい教室」のDVDを視聴し、災害時に安全に避難するための約束を学び、3～6年生は「地震だ！その時どうする？」のDVDで、自助・共助・公助をキーワードに自他の命を守ることの大切さを学習しました。



訓練のめあてや避難の約束を事前指導でおさえました



「地震発生」の校内放送で
素早く机の下にもぐる2年生



防災頭巾を被り、1列になって
整然と避難する2年生



ワークシートに自分の考えを書き、
避難訓練の振り返りをする4年生

裏面には、桐生市が発行している「我が家の防災チェックリスト」を掲載しました。各家庭でも、家族みんなで防災会議を開き、地震発生時の避難のしかたや、家族が一緒にいない時の集合場所の確認など、ぜひ“備え”のある約束をお子さんとしておいてください。

また、本日「大きな地震が発生した場合における学校の対応について」の通知を配布しました。「震度5弱以上の地震」の際の桐生市立全小中学校・幼稚園の対応等について記載しています。緊急時の対応につきましてご確認いただき、状況に応じた最善の対処ができますようご協力をよろしくお願いいたします。